

世界初の津波対応型造船施設「みらい造船プロジェクト」

- 世界初の津波対応型造船施設である「みらい造船プロジェクト」は、**気仙沼市及び東北の基幹産業である水産業を支える漁船を建造・修繕する造船所の復興を産官公**（被災事業者、国土交通省、復興庁、気仙沼市、日本財団）**が連携して行うプロジェクト**であり、**気仙沼市及び東北における復興のシンボル**。
- **4つの被災造船会社を移転・機能集約した「みらい造船」を設立**することにより、**復興造船所の能力向上を実現**。

株式会社みらい造船

■ 2015年5月1日設立（資本金2,330万円 従業員110人（2019年5月時点））

4造船事業者（木戸浦造船(株)、(株)小鯖造船所、(株)澤田造船所、(株)吉田造船鉄工所）及び3関連事業者（石川電装(株)、(株)小野寺鐵工所、(株)ケーヤード）等が出資

■ 事業費（上物）： 105.5億円

造船復興補助金：70.3億円
 日本財団助成金：8億円
 気仙沼市補助金：1.5億円
 日本財団を原資とした無利子融資：25.2億円
 民間借入金【船主・関連事業者】：0.5億円

■ 敷地（約4万㎡）は気仙沼市から借受

用地取得・地盤改良に復興交付金63.5億円

これまでの経緯

- 2015年5月 (株)みらい造船設立
- 2016年10月21日 起工式典開（田中良生国土交通副大臣出席）
- 2018年4月1日 (株)みらい造船が4造船事業を吸収合併
- 2019年5月末 造船所竣工
- 2019年9月8日 完成式典（渡辺復興大臣、牧野国交副大臣出席）
- 2019年11月24日 安倍総理大臣視察

移転・機能集約



みらい造船所新工場全景



造船所の特徴

- 最新の施設・設備の導入により、大型漁船を10隻同時に工事可能
- 作業場所が平坦になり、作業効率アップ、陸上鋼構造物も建造可能
- 上下架施設（シップリフト）により、造船所を防潮堤内へ設置可能
- 環境配慮型ヤード（洗浄水の海への流出防止等）